



のんびり春山(Fパーティ)

越後 赤崩山～日向倉山～未丈ヶ岳往復

岩田

【日時】2007年4月7～8日

【メンバー】L岩田、山川、斉藤、千代川、煤孫

最初パーティー編成を見たときちょっと驚いた。山川さん、千代川さんとは初めての歩き、入会したての煤孫さんとはもちろん初めて、斉藤さんとは入会して何年も経つのに全く初めての山行である。さらに今シーズン、ピッケルを持っての山行も初めて。奥只見の山に入るのも初めて。とにかく初めて尽くしなのだ。

シルバーラインのトンネルを抜けると太陽の光が眩しい。絶好の春山日和である。

石抱橋付近に車を置き橋の右側の尾根を歩き稜線を目指す。今年はどこも雪不足でヤブ尾根歩きになるのではないかと思っていたが思ったより雪はあってヤブはほとんど無かった。緩やかな斜面を快適に登っていく。山川さん、千代川さんが非常に元気で頼もしい。稜線からは短いアップダウンを繰り返していく。赤崩山を下ったところに足跡を発見。スキーパーティーが登ってきた尾根だった。快適そうな尾根でこちらから登って来た方が早かっただろう。

ここから日向倉山まではダラダラと長い登りが続き、わずかな辛抱で日向倉山の山頂である。天気は申し分なく明日目指す未丈ヶ岳が良く見える。今日中に山頂まで行けるのではないかとも思ったが時間はまだタップリある。そう急ぐ必要もないだろうと山頂でのんびりと過ごし歩き始める。P1272mの先に広い平坦な場所を発見。迷わず今宵の宿とする。

テントに入ると水を作りながらの宴会となった。早速、入会したての煤孫さんにトマにおける宴会のしきたりを伝授する。

- 一、テントに入ったらまずはビールを飲むべし
- 二、ビールは各自持参すべし
- 三、つまみは各自一品持参すべし

入会当初は自分もこれには驚いたが慣れてくるとこれが当たり前になってしまう。煤孫さんもすぐにビール無しでは山に行けなくなってしまうだろう。

ところで明日の起床は？10時山頂集結だったら8時に出ればいいよね、と思っていたらなぜか山川さんが一番に山頂に行きたいそうでその熱意に負け6時出発になってしまう。しかし、この判断は後に正しかったことがわかる。

翌日、天気は良いが雲が多いのが気になる。P1376mからの下りはところどころクレバス状に

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>

なった痩せた尾根でこのルートで一番嫌なところだった。慎重に1人ずつ通過すると雲が広がってきてすぐにガスに包まれてしまった。この下りを過ぎると先に歩いていた石井パーティーに遭遇。どうやら我々が一番ではないようだ。山頂ではすでにほとんどのパーティーが到着しており我々は最後の方だった。まだ8時なのに…。8時にテン場を出発していたらブーイングが飛んでいたことだろう。最後の笹川パーティーの到着を待って山頂で記念撮影。しかしガスが消えることはなく景色は全く無しの山頂であった。

往路を戻り下山を開始する。しかし、すぐに晴れ始めP1376mまで来ると快晴となる。遠くにさっきまでいたはずの未丈ヶ岳山頂が良く見える。まあこんなこともあるさ。

赤崩山手前で登ってくるのときに見た尾根を下る。予想通り快適でシリセードなどで楽しみながら下っていく。間もなく日光橋というところで雨になってしまったが先に下山していた高橋さん、子安さんに車を回収してもらっていたのですぐに温泉に行くことができた。その後、最終集結地の「じねん」へ。おいしい山の幸、そばで腹を満たして無事山行を終えることができた。

今回の会山行の成功はとにかく担当だった佐貫さん、田邊さんのおかげだろう。お二人ともお疲れさまでした。

【行程】

4/7 石抱橋(8:30)～赤崩山(11:00)～日向倉山(13:10～14:10)～P1272m北(幕営)

4/8 幕営地(6:10)～未丈ヶ岳(8:10～9:40)～日光橋(14:40)

【地図】未丈ヶ岳、奥只見湖

